

あいち農産物生産流通レポート

2021年12月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ 令和3年度愛知県茶業振興大会が開催されました	(園芸農産課) 1
◎ 地域トピックス	
・ 令和3年度海部地域いいともあいち即売会の開催	(海部農林水産事務所) 2
・ “2022花半島事業フラワーフェスティバル”について	(知多農林水産事務所) 3
◎ 東日本情報	
・ 商品の独自性をデザインに落とし込む	(東京事務所) 4
◎ 西日本情報	
・ あいちの農林水産フェアを開催しました	(食育消費流通課) 6
◎ フラワーページ	
・ 愛知県庁前の「おもてなし花壇」をご覧ください！	(園芸農産課) 7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の12月の見通し(県内市場)	22

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

令和3年度愛知県茶業振興大会が開催されました

園芸農産課

本県では、県内茶業の発展につなげることを目的として、愛知県、西尾市、豊田市、新城市、豊橋市、田原市、愛知県茶業連合会の共催により愛知県茶業振興大会が開催されています。

一昨年は全国お茶まつりの愛知県開催により、昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響によりそれぞれ開催されなかった本大会ですが、令和3年度は3年ぶりに開催されました。

1 愛知県茶品評会

茶の栽培技術を向上させるため、県産の新茶を一堂に集めて出来栄を競う品評会が、2021年7月6日（火）から7日（水）にかけて行われました。品評会には、県内の各産地からてん茶（抹茶の原料）を始めとした4茶種117点の出品がありました。出品されたお茶の多くは品質がよく、レベルの高い品評会となりました。

厳正な審査の結果、4茶種合計で1等20点、2等20点、3等19点の入賞が決まりました。また、1等入賞者には、農林水産大臣賞を始めとした特別賞が贈られました。入賞者は、10月28日（木）に県立農業大学校において行われた表彰式で表彰されました。



審査風景



表彰式

2 消費拡大の取組

県内の多くの方にあいちの茶を知っていただくため、愛知県茶業振興大会の事業として、関係者が各種イベントに出向いてお茶のPRを行っています。これまでは主としてお茶や陶器に関するイベントに参加していましたが、今年度はそれに加え、新たな取組として2022年1月に大手量販店で県内産茶葉の展示等を行うPRイベントを予定しています。



イベントへの出展（2018年度）

令和3年度海部地域いいともあいち即売会の開催

海部農林水産事務所

2021年11月6日（土）にJAあいち海部愛菜耕房（グリーンセンター津島店）で、海部地域いいともあいち即売会（以下、即売会）を開催し、地元産農産物を使った商品を来場者にPRしました。

1 県産農産物を使用した加工品販売

即売会では、海部地域いいともあいちネットワーク会員（以下、会員）が、県産農産物を使用した加工品を販売し、店頭には愛西市産れんこんやいちご等を使用した洋菓子や蟹江町産白いちじくを使用した和洋菓子、愛知県産米粉や小麦粉を使用した和菓子など、たくさんの商品が並びました。

会員は、独自ののぼりやタペストリーを使って商品を積極的にPRするとともに、商品の特徴や使用されている地元産農産物について説明するなど、来場者と交流する姿が見られました。また、商品にいいともあいちのシンボルマークを貼り付け、県産農産物を使用した商品であることをアピールしました。



即売会の様子



シンボルマークを貼り付けた商品

2 「いいともあいち運動」PR

「いいともあいち運動」は、県内の消費者と生産者がいい友関係になり、もっと県産品を食べよう、利用しようという取組です。

農政課では、のぼりやはっぴ、リーフレット等の資材を活用して「いいともあいち運動」をPRしました。

今後も県産農産物を使用した商品のPRや販売を通して、消費者と生産者、加工・流通業者とのつながりを深め、地域段階でのさらなる地産地消の取組を推進していきます。

“2022 花半島事業フラワーフェスティバル” について

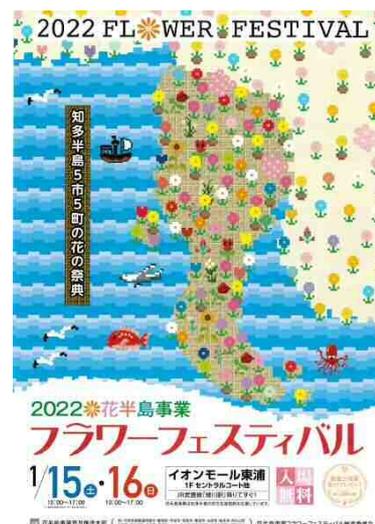
知多農林水産事務所

2022年1月15日(土)、16日(日)の2日間、東浦町のイオンモール東浦において、「2022 花半島事業フラワーフェスティバル」が開催されます。15回目を迎えるこのフェスティバルは、知多半島の花きの魅力を存分に発信し、地域を彩る華やかなイベントとして定着しています。

1 概要

本フェスティバルは、地域の農業団体・行政・観光団体が「花半島事業構想」の一環として、四季を通じて花の咲き誇る「知多半島・花半島」を目指し、2007年度から開催しています。

J Aあいち知多及び知多地域10市町等が主体となり、訪れる人々の目を楽しませるため、華やかなモニュメントで会場を装飾します。また、より楽しさを感じてもらうため、知多半島産の花きの販売や花きを利用した体験など、様々な内容が盛り込まれています。



本フェスティバルのチラシ

2 展示、体験の内容

「花のおもてなし」として、会場全体を様々な花のモニュメントで飾ります。特に、ランドマークとして、セントラルコートに巨大な花のメインモニュメントが飾られますので、是非、お楽しみください。

また、知多半島で生産された魅力のある花きが販売されるとともに、昨年度、参加者から好評だった体験コーナーは、内容を拡充して、親子体験コーナー（花植え体験、花くま作り体験*）と一般体験コーナー（フラワーバルーン作り体験）が設けられます。

是非、足をお運びいただき、愛知県有数の花き産地である「知多半島」の花きの魅力を存分に味わってください。

※花くま作り体験

カットした花をオアシス（吸水スポンジ）に生け、花でくまの形を作るフラワーアレンジメント体験。



メインモニュメント

(写真は昨年度(イオンモール常滑))



親子体験コーナー（花くま）

商品の独自性をデザインに落とし込む

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

農産物や加工品を店頭で販売する場合、多くのものがパッケージされています。多くの類似商品の中から消費者の手にとってもらうためにはパッケージデザインが重要です。

農家に売る力をつけてもらうためのデザインについて、「農業に強いデザイン事務所」である貼雑(はりまぜ)デザイン事務所(現:株式会社はりまぜデザイン(2021年11月名称変更))代表角田誠氏の講演を聞く機会がありましたので、その内容を紹介します。

1 角田氏について

角田氏は100円ショップの日用品のデザインを数多く手がけ、代表作の一つにメラミンおばけスポンジがあります。さらに、農業デザインにも取組分野を広げ、多くの農産物のシールやラベル、加工品のパッケージなど農業デザインの取組を行っており、全国に農家顧客がいます。



角田氏の代表作のひとつ

〔株式会社はりまぜデザイン
ホームページから引用〕

2 商品の独自性をつくる

自分の作ったものを売る農家は、図のように、良いものを作りた→そのために味・品質で勝負する→しかし売れない→売れるようにもっと良いものを作りた→さらに味・品質で勝負する→しかし売れない→さらにもっと良いものを…という負のスパイラルに陥りがちになります。

しかし「良いもの」とは何か、誰にとって何が良いのかを考えることが大切です。類似商品との差異や違いを作っていくのがブランディングであり、独自化ができ、違いが出せたものがブランドとなります。これは、消費者が商品やサービスを選ぶ理由を作ることと同義です。そのために、その商品の独自性を一言で言える必要があります。

独自性を明らかにし、一言で言うには、他者を見なければなりません。マーケティングに通じますが、自分だけを見ても他者との違いは分かりません。他者との違いを探し、他者との違いを作ることが第一歩です。

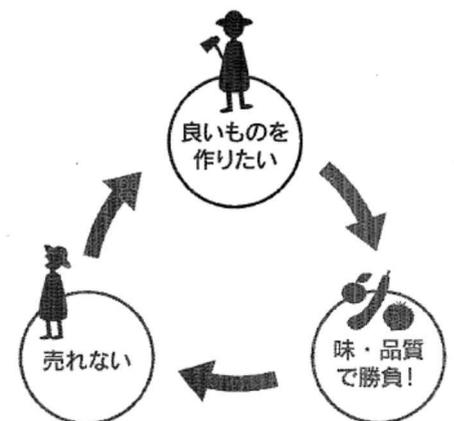


図 陥りやすい負のスパイラル
(講演時の配付資料から引用)

3 独自性が明確になればデザインも決まる

「私が作りました」「〇〇さんの野菜」と顔写真のシールがよくありますが、これを見ても、よく知らない人で「買いたい」という気持ちにはなりません。デザインとは「〇〇（どこ）で、〇〇（だれ）に、〇〇の特徴がある、〇〇を売るためのデザイン」と言えなければなりません。これは半分アートで半分科学の世界ですが、これが明確になることでデザインに必要なことが明確になります。

例えば、「直売所で、買物客に、イチゴ農家で作るという特徴のあるイチゴジャムを売るためのパッケージデザイン」ではイチゴ農家が多い地域では独自性はありません。しかし、ジャム作りの過程で、忙しさのためイチゴを大まかにしか切っておらず、果肉がゴロゴロ入っているということが明らかになります。すると、「直売所で、イチゴ好き、ジャム好きな人達に、果肉がごろっと入っているという特徴があるイチゴジャムを売るためのパッケージデザイン」となり独自性が生じます。それによりパッケージデザインが決まります。これには人柄やセンスが表れます。

本来は中身が見えた方がよいものでも、手に取って中身を確認してもらうために、中身が見えにくいようにグルッと包装するのも一つの方法です。色のカラフルさは、脳でおいしさを感じるため有効ですが、情報を入れすぎると散漫になって効果的でなくなる恐れがあります。

4 ロゴを考える

ロゴは、外部から受けるイメージを統一し、内部での思いを一つにするのに役立ちます。格好良さではなく、ツールとして機能するかどうかが重要で、①コンセプトが体現されているか、②流行りに惑わされていないか、③シンプルかつ印象的か、④色に意味があり、色数は少なくできたか、⑤どんな場所でもできるか、⑥業界の中で目立っているか、⑦自社やブランドのポジションにあっているか、⑧オリジナリティはあるかがポイントです。

好き嫌いで色を決めず、小さいサイズや白黒など、あらゆる利用シーンを想定して考えます。小さいと文字が潰れて読めないことがよくあり、農家のロゴはごちゃごちゃしていることが多くあります。

株式会社はりまぜデザインは、インターネットラジオ Podcast に「農業デザイン！アグデザ」の番組があり、農家に売る力をつけてもらうためのデザインの捉え方やマーケティング手法を配信していますので、興味のある方は視聴してみてください。



Podcast【農業デザイン！アグデザ】

〔株式会社はりまぜデザイン
ホームページから引用〕

あいちの農林水産フェアを開催しました

食育消費流通課

本県の新鮮で、安全・安心な農林水産物や県産食材を活用した加工品を県民の方々に広く紹介する「あいちの農林水産フェア」を、10月22日（金）、23日（土）に日本最大級のSDGs推進フェアである「SDGs AICHI EXPO 2021」の会場内で開催しました。

1 県産農林水産物及び加工品の販売

フェアでは、いいともあいちネットワーク会員及び農業団体を始め、25の企業・団体が出展し、トマト、ほうれんそうなどの農産物を始め、うなぎ、抹茶、味噌など“あいち産”にこだわった県産品を数多くPRしました。

2 地産地消弁当等の販売

また、チカマチラウンジ(名古屋クロスコートタワー地下)の飲食店7店舗と農業団体とのコラボレーションにより製作された地産地消弁当等(9種類)の販売も行い、フェア期間中は一部店頭でも販売しました。

大葉、蓮根、トマトといった新鮮な県産農林水産物の持ち味が存分に活かされた仕上がりで、「SDGs AICHI EXPO 2021」出展者を含め、多くの方々に召し上がっていただきました。



会場の様子



地産地消弁当

(みかわポークチャーシュー重)

3 主催者企画の実施

主催者企画としては、主に「食と農業に関するクイズ」、「豆つまみゲーム」を行いました。

食農クイズでは、パソコンで出題される問題と解説を通して、県産農産物等の知識や食と農の大切さを多くの方々に知っていただきました。豆が入った容器からボードの穴へと移す豆つまみゲームでは、難なく高速で移す方、苦戦する方の両者が見られ、とても賑やかでした。

プレゼントが用意された両企画は、どちらも大変好評であり、「美味しく」そして「楽しく」、地産地消の魅力を発信できた2日間でした。

今後も、こうしたイベントなどを通して、食の面からSDGsや環境負荷低減に貢献できる地産地消の取組を一層推進していきます。



クイズコーナーの様子

愛知県庁前の「おもてなし花壇」をご覧ください！

園芸農産課

愛知県は、58年連続で花き生産日本一を誇る「花の王国」です。本県は関係団体と連携して、県民の皆様に「花の王国あいち」をPRするとともに、あいちの花を暮らしの中に取り入れていただく「花いっぱい県民運動」を展開しています。

この取組の一つとして、2015年度から県内外の皆様を「あいちの花」でもてなすことを目的に、愛知県庁本庁舎の玄関前に「おもてなし花壇」を設置しています。概ね月1回の植替えを行うことで、いつ訪れても見映えのする花壇となっており、「花の王国あいち」の魅力を広くPRしています。

1 おもてなし花壇の魅力

花壇には毎回10種類以上の「あいちの花」をふんだんに使用し、旬の花を楽しむことができます。また、普段あまり見かけない、珍しい花も使用されており、花に馴染みのない初心者の方から馴染みのあるベテランの方まで、幅広く楽しんでいただけます。

さらに、植え方にも工夫があり、様々な種類の花を寄せ植えのように配置することで、大きな花束に見えるようなデザインとなっており、遠くから見ても、近くで見ても見応えがあります。

2 「花の王国あいち」のPRと需要喚起

「おもてなし花壇」には、「花の王国あいち」のシンボルマークを設置し、愛知県が日本一の花の産地であることを県内外へ広くPRしています。また、「あいちの花」を使って花壇づくりや寄せ植えを楽しんでいただくことを目的に、「花の王国あいち」公式ホームページで、使用した花の種類や特徴を紹介しています。

「おもてなし花壇」を多くの県内外の皆様にご覧いただくことで、「花の王国あいち」をPRするとともに、「あいちの花」の需要喚起につなげています。



紹介ページ
QRコード



愛知県庁前の「おもてなし花壇」

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2年実績	2, 0 0 8	1, 1 1 3 (5 5 %)	4 3 8	4 5 7 茨城 (4 3 %) 熊本 (1 %)
3年見通し	1, 9 5 0	—	4 3 8	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知、茨城からの入荷が中心となる。前年作は平年並の作柄だったが、本年作は7月、8月の曇雨天で生育が遅れたことで作況が悪く、入荷量は少ない見込み。価格はコロナ禍により需要が低下したものの、一定の需要は維持され、前年と同程度となる予想。 入荷量は少なかった前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>		<p>愛知では、新規就農はあるものの、高齢化が進んでおり、作付面積が減少し入荷量も減少している。 産地には、作付面積と安定した入荷量の維持をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産	愛知産	
2年実績	9, 5 3 3	2 5 7 (3 %)	2 4 9	2 2 5 長野 (4 4 %) 茨城 (2 2 %) 福岡 (1 3 %)
3年見通し	9, 3 0 0	—	2 6 0	—
概要と見通し		卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>前年は新型コロナウイルス感染症の影響で非常に販売に苦戦した。 今年は作付面積が減少しているものの各産地とも生育良好で順調な入荷が見込まれる。しかし、今後は冷え込みのため例年ほどは入荷量が伸びず動きも鈍いか。今後も厳しい価格展開が予想されるが、入荷量減少に伴い価格が上昇する可能性はある。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をやや上回る見込み。</p>		<p>愛知県指定の顧客がたくさんいる。市場としては、ファンを減らさないように取り組んでいくので、引き続き、高品質、安定出荷をお願いする。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

11月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格は円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
野菜	28年	36,624	218	186	216	243	北海道 29%	
	29年	35,204	237	235	238	234	愛知 23%	
	30年	35,140	268	247	246	315	茨城 12%	
	元年	36,855	204	193	195	215	長野 4%	
	2年	36,094	205	201	199	207	熊本 3%	
	5ヵ年平均	35,983	226	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	31,000	277	—	—	—		
	計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		<p>北海道、愛知、茨城などが中心となる。台風や病害の被害が少なく、作柄は全体的に良好であるが、たまねぎは不作傾向。冬の鍋需要やクリスマス・年末需要が期待される。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>						
	だいこん	28年	1,720	94	99	98	90	千葉 47%
29年		1,780	155	134	151	191	愛知 22%	
30年		2,130	51	53	48	57	鹿児島 12%	
元年		1,883	69	74	70	71	静岡 8%	
2年		2,116	66	55	60	86	神奈川 6%	
5ヵ年平均		1,926	85	81	83	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		2,000	73	70	70	80		
計		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		<p>千葉、愛知を中心に入荷する。台風の被害もなく、各産地生育は良好である。直近2年は暖冬の影響で太物が中心となり、販売不振が続いている。今年も暖冬であれば安値になる可能性がある。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>						
にんじん		28年	1,929	133	137	145	120	愛知 75%
	29年	1,997	135	134	118	163	岐阜 9%	
	30年	1,781	118	122	120	110	北海道 8%	
	元年	2,090	120	118	124	115	千葉 3%	
	2年	2,364	101	100	87	122	長崎 2%	
	5ヵ年平均	2,032	121	121	117	126	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,100	116	110	110	130		
	計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		<p>愛知を中心に一部岐阜などからも入荷する。平年に比べて豊作傾向である。岐阜は生育が少し遅れており、12月の出荷が多くなる見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

11月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	28年	132,314	272	266	265	284	茨城 20%
	29年	124,957	314	280	295	364	千葉 19%
	30年	130,891	230	204	216	267	北海道 14%
	元年	129,528	242	228	242	255	愛知 6%
	2年	127,864	211	184	199	248	神奈川 4%
	5カ年平均	129,111	254	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	127,000	240	—	—	—	
野菜計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、千葉などの関東産地や北海道からの入荷が中心となる。天候に恵まれ、前月はキャベツや大根等の露地物の入荷量が多く安値で推移した。今後は冷え込みに加え重油高で各品目の出方が鈍るか。入荷量は前年並となり、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>						
だいこん	28年	13,111	90	88	91	92	千葉 56%
	29年	10,880	151	128	139	186	神奈川 35%
	30年	11,773	49	43	43	61	徳島 3%
	元年	11,809	67	66	63	72	鹿児島 2%
	2年	10,717	63	46	50	89	茨城 2%
	5カ年平均	11,658	83	74	77	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	11,500	65	60	60	75	
だいこん計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>千葉、神奈川からの入荷がほとんどを占める。気温高と適度な降雨により生育や肥大は順調。前年は入荷量少なめ今年も今年も平均並にあるか。潤沢な入荷が続く中、冷え込みで需要高まれば相場上昇となるか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
にんじん	28年	8,470	148	149	140	154	千葉 84%
	29年	8,622	133	124	129	145	埼玉 6%
	30年	8,780	110	103	105	121	香川 3%
	元年	8,080	141	144	136	144	茨城 2%
	2年	8,988	115	108	107	130	熊本 1%
	5カ年平均	8,588	129	125	123	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	8,800	110	90	100	140	
にんじん計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>千葉を中心に埼玉などからの入荷となる。主力千葉の一部では8月の雨のため撒き直しされたものの、その後は天候に問題なく生育や肥大は順調。前月に続く潤沢な入荷で相場展開は厳しいと見込まれる。入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

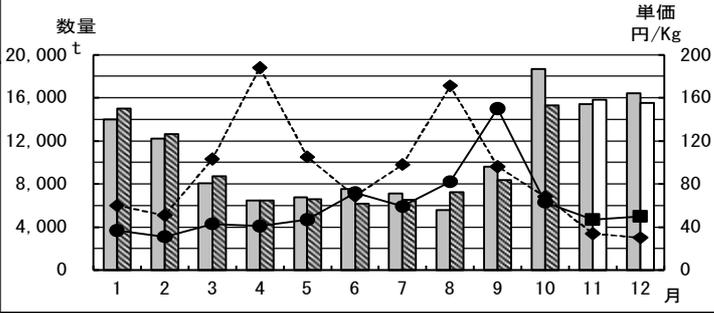
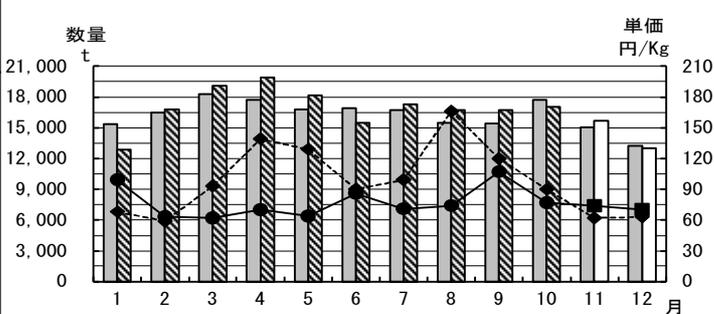
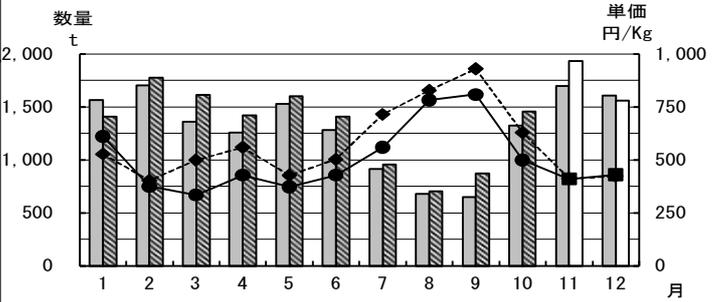
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	28年	3,231	101	98	97	109	茨城 61%
	29年	3,725	138	125	132	156	愛知 28%
	30年	4,304	48	46	49	51	宮崎 3%
	元年	3,803	66	69	63	67	岐阜 3%
	2年	4,217	43	36	40	53	三重 2%
	5ヵ年平均	3,856	77	72	74	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	4,000	65	55	60	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、愛知を中心に入荷する。各産地病害も少なく、生育順調。販売先は量販店中心となり、漬物加工業務は苦戦することが予想される。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
キャベツ	28年	3,449	104	105	108	102	愛知 69%
	29年	4,035	134	131	144	182	茨城 23%
	30年	3,323	71	72	64	79	滋賀 4%
	元年	3,427	67	66	70	68	石川 1%
	2年	4,029	65	53	62	80	静岡 1%
	5ヵ年平均	3,653	89	86	91	104	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	3,500	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、茨城を中心に入荷する。現状は小玉傾向であるが、今後降雨があれば順調な入荷を見込む。愛知、茨城ともに入荷ピークに入るが、昨年より入荷量は少ない見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ほうろ	28年	354	472	484	507	471	愛知 44%
	29年	181	980	909	959	1,063	茨城 19%
	30年	320	436	426	409	476	岐阜 13%
	元年	270	601	566	638	602	群馬 10%
	2年	301	443	311	480	596	静岡 7%
	5ヵ年平均	285	547	504	561	598	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	300	500	400	500	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知を中心に茨城、岐阜などから入荷する。本年12月は低温が予想されており、ハウス加温の燃料が高いことから相場は高騰する可能性がある。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

11月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほういさ	28年	14,745	83	77	79	93	茨城 93%
	29年	16,244	105	95	98	120	群馬 3%
	30年	15,439	38	36	39	37	北海道 1%
	元年	15,879	54	57	52	54	和歌山 1%
	2年	16,416	30	24	27	37	
	5ヵ年平均	15,745	62	58	59	68	
	3年見通し	15,500	50	40	50	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷がほとんどを占める。定植の遅れがややあったものの天候に恵まれて降雨も定期的であり生育は順調で、肥大も良好と見込まれる。出回り量は十分で、冷え込みで需要増も安値基調が続くか。入荷量は前年をやや下回り、価格は暴落した前年を大幅に上回る見込み。</p>					
							
キヤベツ	28年	14,178	112	109	114	114	愛知 42%
	29年	13,077	155	128	145	191	千葉 34%
	30年	14,117	72	68	64	84	茨城 14%
	元年	13,998	70	70	74	67	神奈川 7%
	2年	13,235	63	49	58	82	東京 1%
	5ヵ年平均	13,721	94	85	91	107	
	3年見通し	13,000	70	60	70	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に千葉など関東産地からの入荷となる。愛知では干ばつの影響のため生育が鈍り肥大が遅れるほ場があるも、全体としては順調に生育している。前月に続いて入荷量は潤沢と見込まれ安値が続くか。入荷量は前年並となり、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>					
							
ほうれんそう	28年	1,703	473	480	482	459	群馬 45%
	29年	991	913	829	859	1,028	茨城 25%
	30年	1,557	420	368	383	511	千葉 9%
	元年	1,324	605	584	631	602	埼玉 9%
	2年	1,607	423	314	385	581	栃木 8%
	5ヵ年平均	1,436	535	486	518	602	
	3年見通し	1,560	430	380	430	480	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東近郊産地からの入荷が中心となる。各産地とも気温高と適度な降雨により生育は順調。産地によっては前進出荷傾向も、その後の作型も生育順調で潤沢な出回りが見込まれる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
							

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

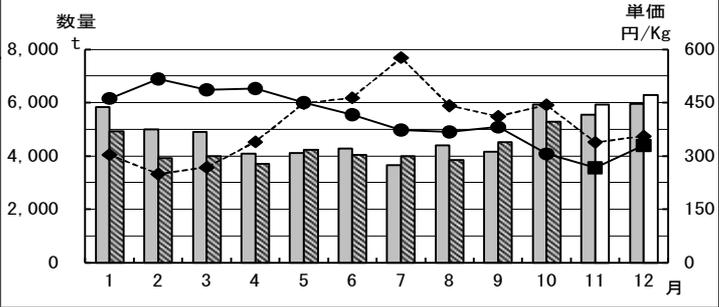
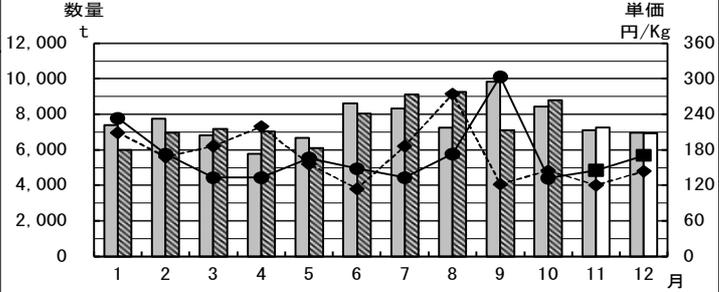
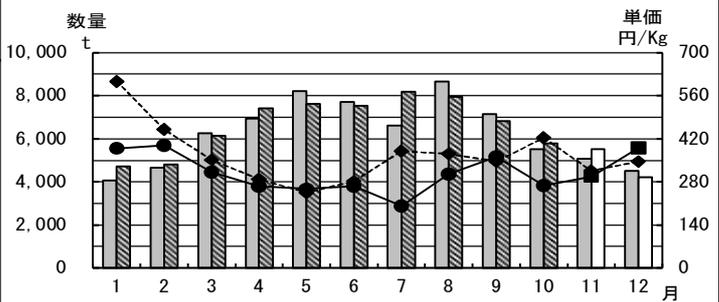
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	1,196	408	398	395	433	長野 21%
	29年	1,182	448	443	426	481	大分 18%
	30年	1,181	376	361	362	406	静岡 13%
	元年	1,248	378	389	368	382	鳥取 8%
	2年	1,165	382	330	357	450	愛知 7%
	5ヵ年平均	1,194	398	384	382	430	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	1,200	390	350	400	420		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>白ネギは長野、大分など、長ネギは愛知から入荷する。静岡は平年並、鳥取は平年よりやや少ない見込み。愛知の越津ねぎは前年より生育良好。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>							
し	28年	1,802	235	272	230	215	兵庫 37%
	29年	1,288	554	462	486	678	静岡 18%
	30年	1,845	170	148	141	218	愛知 16%
	元年	1,800	219	208	237	217	茨城 9%
	2年	1,918	151	114	151	193	熊本 8%
	5ヵ年平均	1,731	247	226	233	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	1,800	180	160	180	200		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>兵庫を中心に愛知、静岡などから入荷する。各産地の入荷量は前年並かやや減少を見込む。年内は大玉傾向で順調な入荷を予想。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
き	28年	1,031	446	440	433	466	愛知 49%
	29年	1,029	492	475	492	507	宮崎 23%
	30年	1,027	492	380	297	350	高知 13%
	元年	997	490	425	479	561	鹿児島 13%
	2年	1,163	335	286	339	382	群馬 1%
	5ヵ年平均	1,050	448	398	406	451	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	1,150	350	300	350	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知を中心に宮崎などの西南暖地から入荷する。各産地、大きな病害虫被害はなく、作柄良好。上旬に入荷ピークを迎え、中下旬～年末にかけて引き合いが強くなる見込み。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安値だった前年をやや上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

11月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	6,159	363	364	347	377	茨城 20%
	29年	6,041	391	414	359	403	千葉 19%
	30年	6,484	324	313	310	343	埼玉 15%
	元年	6,224	348	371	331	343	栃木 12%
	2年	5,947	356	320	316	421	群馬 10%
	5ヵ年平均	6,171	356	356	332	377	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,300	330	250	340	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城を始め千葉などの関東近郊産地からの入荷となる。夏場の雨により一部では欠株等があるものの、その後の天候は良好で生育順調。茨城の作付増も影響し、全体量は十分と見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
し	28年	8,575	233	266	224	212	静岡 37%
	29年	5,186	547	469	482	667	兵庫 15%
	30年	8,449	156	138	121	210	茨城 12%
	元年	7,614	223	213	244	214	長崎 10%
	2年	6,941	144	104	142	180	香川 8%
	5ヵ年平均	7,353	241	224	225	270	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,900	170	150	160	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡を中心に兵庫、香川、長崎などからの入荷となる。天候に恵まれ、全体的に生育順調で大玉傾向。香川が作付けを減らすも各産地からの入荷は順調で、需要期でないこともあって入荷量に不足はないか。 入荷量は前年並となり、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。							
きゅうり	28年	4,490	464	461	449	483	宮崎 42%
	29年	4,228	523	497	529	541	千葉 14%
	30年	3,752	556	344	604	788	高知 14%
	元年	3,887	546	481	538	614	埼玉 13%
	2年	4,505	346	298	349	581	群馬 8%
	5ヵ年平均	4,172	482	416	488	595	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	4,200	390	300	370	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
宮崎を中心に千葉、高知などの西南暖地と関東近郊産地からの入荷となる。各産地とも生育は順調で草勢も良好。順調な入荷を見込む一方、産地によっては重油高のため作型を変更して切り上げを早める。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	28年	342	442	441	447	439	熊本 57%
	29年	257	564	542	591	561	愛知 38%
	30年	398	402	398	408	407	高知 5%
	元年	345	448	448	458	446	
	2年	383	398	398	401	399	
	5ヵ年平均	345	442	438	451	442	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	380	400	395	400	405		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本の長ナス、愛知の長卵型ナスを中心に入荷する。両産地とも生育は順調である。ハウス内の加温が始まるため、外気温より日射量によって入荷量が大きく増減することが予想される。 入荷量と価格はともに前年並となる見込み。						
ト	28年	815	541	681	483	460	熊本 48%
	29年	868	487	461	465	532	愛知 23%
	30年	1,034	328	335	330	323	三重 15%
	元年	956	331	389	321	290	岐阜 11%
	2年	1,006	287	276	289	298	高知 1%
	5ヵ年平均	936	386	417	371	374	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	960	320	320	300	330		
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、愛知、三重、岐阜が中心となる。12月の冷え込みから消費が鈍く、厳しい販売となる見込み。燃料高騰により加温が遅れることで入荷量や品質への影響が懸念される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。						
ミニ	28年	333	917	1,021	850	900	熊本 57%
	29年	360	907	864	932	921	愛知 36%
	30年	490	585	549	572	638	宮崎 4%
	元年	464	559	670	516	507	和歌山 3%
	2年	531	456	445	449	477	
	5ヵ年平均	436	652	674	632	658	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	450	550	450	550	650		
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、愛知を中心に入荷する。12月上旬に入荷ピークとなり、中旬には落ち着く見込み。クリスマス需要により月の後半に価格が上がってくる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

11月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	28年	1,827	500	484	535	509	高知 61%
	29年	1,496	656	703	756	559	福岡 18%
	30年	1,817	449	444	467	439	熊本 12%
	元年	1,759	516	534	535	479	佐賀 3%
	2年	1,888	462	451	477	461	栃木 2%
	5ヵ年平均	1,757	511	516	546	487	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,800	480	450	500	490	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>高知を中心に福岡、熊本からの入荷となる。生育は順調で、前月の入荷量は増加傾向であったが、草勢の低下や低温により今月は落ち着いた入荷となる見込み。なお、加温控えによる数量減もありうる。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
ト	28年	4,423	577	715	532	500	熊本 44%
	29年	4,446	541	513	519	588	愛知 18%
	30年	5,254	377	373	381	377	栃木 15%
	元年	5,051	381	432	376	336	千葉 6%
	2年	4,830	342	329	346	351	静岡 5%
	5ヵ年平均	4,801	438	466	426	425	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	4,700	430	510	400	380	
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本を中心に愛知、栃木からの入荷となる。熊本は裂果が収まる一方、黄化葉巻病が一部で発生し入荷量への影響が懸念される。愛知は肥大が改善し小玉傾向解消の見込みで、出回りに不足はないか。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
ニ	28年	1,506	886	1,013	796	843	熊本 41%
	29年	1,573	899	840	901	942	愛知 21%
	30年	1,850	594	549	598	635	千葉 9%
	元年	2,104	554	667	532	469	宮崎 8%
	2年	1,949	453	429	444	486	静岡 7%
	5ヵ年平均	1,796	656	679	635	652	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,800	650	630	620	700	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本を中心に、愛知、千葉、宮崎などから入荷する。各産地とも天候に恵まれて生育は順調で着果も良好。潤沢な入荷となる見込みだが、重油高により加温控えがあると出方は鈍る。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

11月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	28年	428	479	469	520	490	鹿児島 53%
	29年	369	611	525	642	619	宮崎 35%
	30年	424	359	298	369	476	高知 12%
	元年	393	447	377	443	561	茨城 1%
	2年	450	322	327	325	369	
	5ヵ年平均	413	438	395	454	497	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	450	450	400	450	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>鹿児島、宮崎、高知を中心に入荷する。各産地、生育順調で上～中旬にかけて安定した入荷となる見込み。下旬は入荷量が若干減少し、価格も下がる見通し。 入荷量は前年並で、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ばれいしょ	28年	2,572	188	190	191	174	北海道 72%
	29年	2,633	114	114	113	115	長崎 28%
	30年	2,773	116	122	112	113	
	元年	3,010	85	88	86	80	
	2年	2,963	141	138	140	143	
	5ヵ年平均	2,790	128	129	127	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,700	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長崎からの入荷となる。北海道は貯蔵産地中心の入荷となっており、入荷量は平年より少ない。長崎は干ばつの影響で生育が遅れており、小玉が多くなる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
たまねぎ	28年	8,414	67	66	70	68	北海道 100%
	29年	7,658	82	84	82	80	
	30年	8,010	98	102	109	89	
	元年	7,743	72	76	75	71	
	2年	7,993	71	74	73	70	
	5ヵ年平均	7,964	78	80	82	76	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	5,300	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>ほぼ全量を北海道から入荷する。北海道は不作で入荷量が少ない。出荷計画が下方修正される可能性がある。小玉傾向が継続し、L、M中心の入荷となる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

11月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ピーマン	28年	1,662	479	442	494	510	宮崎 41%	
	29年	1,471	625	543	662	679	茨城 28%	
	30年	1,579	394	317	382	519	高知 18%	
	元年	1,510	484	410	457	614	鹿児島 13%	
	2年	1,793	364	322	362	411		
	5ヵ年平均	1,603	464	403	466	540	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	1,700	400	350	400	450		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>宮崎、茨城、高知、鹿児島からの入荷となる。茨城では生育遅れがみられるも西南暖地の各産地は天候に恵まれ作柄良好で上旬に出揃うか。順調な出方が予想されるも、重油高のため減らす可能性がある。入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>							
	白菜	28年	7,451	189	186	190	191	北海道 79%
29年		8,146	112	112	111	113	長崎 20%	
30年		7,310	118	120	117	118	鹿児島 1%	
元年		8,855	87	90	86	86		
2年		8,572	142	138	143	144		
5ヵ年平均		8,067	128	128	128	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		7,000	195	190	195	200		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
<p>北海道を中心に長崎からの入荷でほとんどを占める。主力の北海道は不作で貯蔵量が少なく入荷量も少なくなる。長崎は干ばつによる肥大不足で小玉傾向。入荷量の少なさから高値が見込まれる。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>								
たまねぎ		28年	11,441	75	74	74	76	北海道 97%
	29年	10,884	93	90	94	96	中国 2%	
	30年	9,737	121	120	120	126	佐賀 1%	
	元年	9,495	78	77	78	76		
	2年	9,929	76	75	76	77		
	5ヵ年平均	10,297	88	87	88	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	7,500	185	180	185	190		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。貯蔵からの出荷となるが、夏の高温と干ばつのために不作で、数量は少なく小玉傾向。不足感が続く中、強気の価格展開が見込まれる。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

11月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	10,907	370	317	395	415	静岡 20%
	29年	9,718	429	363	442	475	愛知 19%
	30年	9,826	392	342	396	415	フィリピン 10%
	元年	10,487	380	319	402	411	和歌山 10%
	2年	10,272	383	343	414	409	青森 7%
	5ヵ年平均	10,242	390	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	9,200	410	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、いちご、りんごなどが主な品目となる。りんごは長野の作況が悪く、切り上りが早いため、入荷量は前年を下回る見込み。柿は岐阜の富有が12月上旬で入荷終了、中旬以降に冷蔵物の入荷開始の予想。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
み	28年	5,128	251	235	254	273	静岡 40%
	29年	4,332	354	326	354	393	愛知 33%
	30年	5,048	257	236	267	275	和歌山 19%
	元年	4,885	270	245	271	305	熊本 3%
	2年	5,049	236	237	226	246	愛媛 2%
	5ヵ年平均	4,888	271	254	272	295	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	4,600	270	270	280	290		
かん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	静岡、愛知を中心に和歌山、愛媛などから入荷する。今年は裏年のため、各産地入荷量減の予想。生育は前年と異なり、前進傾向。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
い	28年	473	1,985	1,527	2,078	2,257	愛知 52%
	29年	419	2,285	1,667	2,370	2,637	熊本 34%
	30年	505	2,054	1,609	2,280	2,356	鹿児島 5%
	元年	401	2,169	1,695	2,437	2,414	佐賀 2%
	2年	536	1,979	1,820	2,015	2,067	岐阜 2%
	5ヵ年平均	467	2,084	1,666	2,221	2,330	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	450	2,050	1,600	2,300	2,300		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知を中心に、熊本などから入荷する。愛知は生育が前進し、11月下～12月上旬が入荷ピークとなり、クリスマス、年末は少ない見込み。熊本は遅れ気味で、12月上旬から出揃い、年末まで数量がある見込み。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	53,971	417	370	434	447	愛媛 27%
	29年	51,507	457	395	471	494	和歌山 12%
	30年	51,593	446	404	457	472	長崎 10%
	元年	52,865	418	371	436	442	青森 8%
	2年	52,001	429	406	453	443	熊本 8%
	5ヵ年平均	52,387	433	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	51,500	440	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかんを中心にりんご、いちごなどが入荷する。りんごは春先の霜害で各産地入荷量は少ない見込み。柿は一部産地で前進出荷や生育不良の影響で入荷量減らす見込み。 入荷量は前年並となり、価格は前年をわずかに上回る見込み。						
みか	28年	33,332	290	288	294	288	愛媛 39%
	29年	30,959	342	312	343	361	和歌山 19%
	30年	32,507	304	293	310	307	長崎 15%
	元年	32,824	284	275	284	290	静岡 10%
	2年	32,449	280	277	282	279	熊本 10%
	5ヵ年平均	32,414	300	289	302	304	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	32,000	285	280	290	285		
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛媛、長崎、和歌山などから入荷する。中旬には早生から温州に切り替わる。みかん全体では天候に恵まれ、生育順調で品質も良好。果実肥大も良く例年同様にM中心の入荷を見込む。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。						
いちご	28年	2,445	2,092	1,704	2,025	2,359	栃木 45%
	29年	2,330	2,215	1,743	2,173	2,593	福岡 20%
	30年	2,873	2,106	1,639	2,143	2,408	静岡 8%
	元年	2,178	2,252	1,739	2,301	2,538	茨城 8%
	2年	2,755	2,077	1,954	2,040	2,164	長崎 6%
	5ヵ年平均	2,516	2,142	1,757	2,130	2,402	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	2,800	2,100	1,800	2,100	2,400		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	栃木、福岡などから入荷する。天候に恵まれ、栃木を中心に前進出荷傾向で、11月の入荷量は多かった。今後は気温の急激な低下で年内の大幅な増量は見込めないか。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。						

切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 11月30日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
輪 ぎ	実績	28年	2,872	59		
		29年	2,897	58		
		30年	2,400	60		
		元年	2,348	55		
2年		1,648	55			
	5カ年平均	2,433	58			
	3年見通し	2,000	55			
	概要	愛知、三重、沖縄から入荷する。前半は入荷量が少ない見込みだが、年末需要にむけて入荷は伸びてくる。後半にかけては動きもよくなるか。				
小 ぎ	実績	28年	2,381	30		
		29年	3,015	30		
		30年	1,974	35		
		元年	2,079	33		
2年		1,726	31			
	5カ年平均	2,235	32			
	3年見通し	2,000	33			
	概要	沖縄を中心に入荷する。暖かい気候が続いたため、上旬の入荷は少なめの見込み。15日以降に年末需要の動きが出て、入荷も伸びてくる。ピークとしては22～24日、27日にかけては減少する見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	28年	1,258	42		
		29年	1,372	47		
		30年	1,469	39		
		元年	1,427	40		
2年		976	35			
	5カ年平均	1,300	41			
	3年見通し	1,100	40			
	概要	長野も終盤に向かい、愛知中心の入荷となってくる。上位等級も順次増えてくる見込みだが、品薄感は否めない。輸入等も輸送枠の確保等安定性に未だ欠ける状況。				
か す み	実績	28年	182	91		
		29年	169	112		
		30年	206	66		
		元年	170	89		
2年		131	70			
	5カ年平均	172	86			
	3年見通し	150	80			
	概要	和歌山、高知、熊本から入荷する。11月下旬の気温高により、前進気味の入荷だが、年末は極端に減少することはない見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	28年	359	199	
		29年	385	198	
		30年	353	213	
		元年	346	193	
		2年	229	189	
		5カ年平均	334	199	
	3年見通し	250	190		
概要	高知、宮崎、埼玉、新潟、鹿児島から入荷する。オリエンタルはやや前進傾向。今後の天候次第ではあるが、年末用が需要期よりも早めに入荷の可能性もある。				
洋	実績	28年	643	94	
		29年	624	104	
		30年	568	92	
		元年	546	105	
		2年	301	106	
		5カ年平均	536	99	
	3年見通し	300	105		
概要	高知、徳島、鹿児島、静岡、愛知の国内産や輸入品が入荷する。カトリアの入荷は例年並で、年末年始用は顕著な引合いが見込まれる。シンビジウムは昨年並、オンシジウム及びデンファレは昨年の2割減と予想される。輸入品は輸送面の事情から入荷の乱れが懸念される。				
ば	実績	28年	794	74	
		29年	793	78	
		30年	680	76	
		元年	595	94	
		2年	497	87	
		5カ年平均	672	81	
	3年見通し	500	90		
概要	愛知、岐阜、三重を中心に入荷する。多少前進傾向のため、クリスマスはやや品薄の気配。輸入品での補完、引き合いが強まるか。				
枝	実績	28年	4,659	52	
		29年	4,454	56	
		30年	4,492	60	
		元年	2,952	56	
		2年	3,873	57	
		5カ年平均	4,086	56	
	3年見通し	4,000	56		
概要	茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡及び長野から年末商材が入荷する。南天が高齢化や長雨の影響から少なめ、万年青などは11月末から入荷が始まり、気温の推移によって日持ちが心配。梅などの花木の減少は軽微だが、ボケについては出荷者減で減少幅が大きい見込み。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	28年	8,729	953	
		29年	8,469	978	
		30年	9,637	1,079	
		元年	10,380	944	
		2年	10,076	1,098	
	5ヵ年平均	9,458	1,012		
	3年見通し	9,500	1,105		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。原木類が減少傾向にあるため、各サイズで品薄になる見込み。特に8号以下は、かなりの品薄が予想される。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(64.9%)、2位福岡(13.1%)、3位三重(9.5%)となっている。</p>				
シヤコバサボテン	実績	28年	14,034	437	
		29年	11,926	397	
		30年	9,200	511	
		元年	12,271	443	
		2年	8,436	469	
	5ヵ年平均	11,173	447		
	3年見通し	8,000	475		
概要	<p>入荷量は前年並か。5号未満の小鉢中心の入荷になり、6号以上は品薄になる見込み。前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(84.3%)、2位埼玉(14.4%)、3位静岡(0.7%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	28年	606,925	411	
		29年	581,607	383	
		30年	537,326	402	
		元年	540,423	415	
		2年	427,062	448	
	5ヵ年平均	538,669	410		
	3年見通し	420,000	452		
概要	<p>全国的に出荷が速く12月の入荷量は前年より減少か。ガーデンシクラメンが出荷の終盤を迎え、中旬以降からは5号・6号が中心となる。引き合いも例年より強く、後半は良品がかなり少なくなる見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(34.3%)、2位群馬(17.7%)、3位長野(8.3%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	28年	106,582	2,427	
		29年	105,449	2,289	
		30年	91,778	2,206	
		元年	86,602	2,262	
		2年	83,647	2,267	
	5ヵ年平均	94,812	2,295		
	3年見通し	82,000	2,256		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。年々生産量が減少しているなか、夏場の温度が低かった要因と山下げ後の温度が下がらなかったため、半月ほど前進傾向である。特に中旬以降は大幅に入荷減と思われる。11月の安値を引きずり低価格で推移する見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(59.9%)、2位徳島(9.3%)、3位高知(8.9%)となっている。</p>				
カランコエ	実績	28年	29,871	207	
		29年	23,047	194	
		30年	25,819	189	
		元年	17,678	208	
		2年	17,762	244	
	5ヵ年平均	22,835	206		
	3年見通し	17,500	246		
概要	<p>入荷量は前年並か。どの規格においても八重咲きの引合いが強く、競売にかかる割合が少ないため、価格は安定すると予想される。例年通り、年末年始売りの需要が中旬以降見込まれるため、4号・6号の定番商品は品薄となる見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(49.4%)、2位岐阜(47.9%)、3位千葉(1.8%)となっている。</p>				
パンジー	実績	28年	489,381	50	
		29年	552,273	38	
		30年	419,772	39	
		元年	465,569	44	
		2年	413,893	40	
	5ヵ年平均	468,178	42		
	3年見通し	420,000	45		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。気候の影響から生育に影響が出たことや、資材・燃料費の高騰も影響すると思われる。価格は平年並の見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(34.3%)、2位奈良(18.6%)、3位三重(10.4%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.582
2021年12月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434